

医学的記事（関連する多岐疾患を紹介していきます）

アレルギー・喘息関連疾患 Q & A

アナフィラキシーをともなうアレルギー

投稿者：H H /石川県/男性/33才

回答：清水 巍（たかし）

城北病院のHP（<http://www.jouhoku.jp/>）では沢山の科のご相談を頂いています。そこでの回答例です。

【質問】

高校生のときに、エビを食べたあとで体育の授業を受けたさい、初めてアレルギー反応を起こしました。顔などがはれ上がって、呼吸しづらくなるなどの、アナフィラキシー症状でした。以来、特定の食物や気温の急激な変化、ストレスなどが原因で（自己判断ですが）、何度か同様のアナフィラキシーに見舞われています。食物については恐らく甲殻類に反応しているようなので、それを避ければいいのですが、少し前に頭痛のさいに飲んだ鎮痛剤の成分に反応したようで、アレルギーが起きてしまいました。

城北病院はアレルギーに関しては強いと聞いておりますが、私のようなケースについて詳しく調べてもらうことはできるのでしょうか。鎮痛剤もどうか飲めないとなると、非常に不便を感じます。

受診のさいには、小児科の松本先生をたずねるべきか（私は成人ですが）、あるいは清水先生なのか、それとも内科がいいのか、皮膚科なのか、それについても教えてください。



内科の他の専門領域の先生方、外科、婦人科、小児科、整形外科などの相談にも、城北病院掲示板は応じています。

私たちのHPのリンクからも飛ぶことができます。

【回答】

食物依存性運動誘発アナフィラキシーは間違いなくあるようです。33歳の成人の方ですので、内科・アレルギー科を標榜している清水の外来をまず受診されてはいかがでしょうか。

エビなど甲殻類に影響を受ける方々は若い人に多いのですが、その他の食べ物や果物、野菜類などに影響を受ける人もいます。どのような食べ物に、どのような程度に特異IgE抗体RAST（ラスト）の抗体が陽性なのか、調べておかれることは大切なことです。1回の採血で、1か月に1回10種類程度まで調べることは保険で認められております。しかし食べ物の種類は数多くありますし、2ないし3回調べる必要があるかもしれません。

観察力が鋭く、良く勉強しておられる方の方でもありますので、診察のときに良く相談しながら、検査する項目を決め結果を見ながら、今後の対策を考えましょう。

運動と関係なく、食物アレルギーや薬剤アレルギーとして、アナフィラキシー症状が起こっている可能性も否定できません。アスピリンや非ステロイド性解熱鎮痛薬に影響を受ける方もいます。塩基性解熱鎮痛剤などのソラントールやメブロンなどはそのような方でも大丈夫です。ですから解熱剤や鎮痛剤のすべてが駄目だという訳ではありません。

解熱鎮痛薬の吸入誘発テストは内科で行うことができますが、食物の負荷テストは小児科の松本先生の方が経験豊かです。皮膚テストや食物負荷テストまで必要であれば、内科の患者さんであろうとも相談の上、松本先生に調べていただくことが可能です。

以上を当面の回答とさせていただきます。城北病院のホームページの中には清水が外来に出ているときが、曜日ごとに示されておりますけれども、城北診療所の方に電話をかけて頂いて、相談の上予約して頂いてもよろしいし、曜日と診察の時間帯に直接受診されても構いません。

まず診察をさせていただき、検査をされてみては如何でしょうか。